

日時: 2022-04-09 10:00 - 10:45 場所: Cafe Olympia
参加者: 【ご入居者】4名 【行政】1名 【知見を有する者】1名 【地域代表】1名 【スタッフ】4名
書記: 高田 茉依
添付ファイル:
承認者:

1 ごあいさつ（西塚 裕真・グループホーム管理者）

2 運営推進委員の自己紹介（各出席者）

- ・ 蔓延防止措置は解除されたものの、まだ油断を許さない状況なので、前回に引き続き、ユニットリーダーと4名のご入居者の方はデイルームからzoomで参加していただいた。

3 行事のご報告（西塚 裕真・グループホーム管理者）

- ・ 2月より、GH2に新しくスタッフを迎えた。少しずつ笑顔が増えてきているので、一日も早くみなさんに頼っていただける存在になってもらいたい。ご家族に不便をかけているが、引き続きリモート面会のみとさせていただいている。zoomでも面会ができるので、遠方で来られないご家族は画面越しではあるが、今までよりも面会の機会が増えている方もいらっしゃるのでは、よかったと感じる。3月は第三者評価の訪問調査を受けた。コロナにより、運営推進会議も書面での報告がほとんどの中、リモートで行えていることを評価していただいた。4月より、副館長を兼任することになった。今までなかったポジションであり、手探りの状態であるが部門長、リーダーと協力しながら頑張っていく。

4 ユニットからの報告（高田 茉依・ユニット1リーダー、大野 裕子・ユニット2リーダー）

- ・ （ユニット1）2月は節分に豆まきや恵方巻を召し上がった。バレンタインにみなさんと一緒にガトーショコラを作り、唯一の男性ご入居者にプレゼントをした。また、ひな人形を飾るなど活動的な月となった。3月はおやつ作りやお誕生日会をおこなったり、近隣へお散歩やデイサービスで育てているお花を見に行ったりと少しずつ外出の機会を増やしている。
- ・ （ユニット2）2月3日の節分に豆まきをおこなった。昨年に引き続き、ベランダからテラスに向かって豆をまいたので、なかなか当てるのが難しく、鬼自ら当たりに来てくれていた。恵方巻もみなさん、ほとんど完食されていた。バレンタインには、チョコレートを使ってお菓子を作りをした。レシピは用意したがみなさん、手際がよく、あっというまに完成した。おやつに食べたあと、男性スタッフにも配った。3月は、ひな人形を飾ると、昔のひな祭りの思い出などをお話してくださる方も多かった。また、スタッフがピアノを弾くと、それに合わせて歌われたり、鍵盤に触れられたり興味を持たれていた。天気の良い日には、ベランダに洗濯物を干したり、家事にも積極的に参加して下さっている。

5 意見交換

- ・ 西塚：1月26日から2月4日まで兵庫県立総合衛生学院から実習を受け入れた。今年度は5月以降から実習生を受けれる予定。4月6日（水）に昨年、開催できなかったもので、2021年度と2022年度合同で新入職員研修・入職式を行った。3月18日には、消防訓練にご入居者にも参加していただいた。
- ・ 能丸氏：季節を楽しまれていると感じた。浜山では、マスクの付け方・外し方をまとめたものを配布するなど、コロナ

感染予防を呼び掛けている。

- 吉岡氏：いい表情のお写真が多く、自宅や大きな施設ではなかなかできないこと、大人の写真は撮らないので貴重だと感じた。6月に山口館長に関西大学で講演を依頼している。今後、西塚副館長とHH中村管理者にも講演をしていただく予定。
- 山口館長：zoomでの運営推進会議開催も慣れてきた。4月1日から新しい仲間、オリンピア相生が始動している。NPO法人が運営していた障害者就労支援B型作業所で高齢化により継続が難しくなったため、オリンピアで運営することになった。パンを焼いたりもしているそうなので、ご入居者の方に召し上がっていただく機会も作りたい。4月より西塚管理者が副館長を兼任することになった。彼は、2004年に私が神戸医療福祉専門学校で教え始めた1年生の中のひとり。ゼミで高齢者虐待について取り組んでいた。彼はオリンピアが目指すものに対して、一番ぶれがない。また、灘・篠原の副ホーム長に灘の長谷管理者が就任した。彼のキャリアのスタートは兵庫のGH。兵庫で学んだスタッフが活躍してくれることをうれしく思う。まだ、コロナの終息が見えないので、お身体に気を付けていただきたい。

6 第89回運営推進会議

- 6月11日（土）10:00

7 ご家族の意見・要望

- ご意見、ご要望がございましたらお聞かせください。今後の運営に活かして参ります。
-